

時又退職セントスル時ハ九記ニ依リ年當金ヲ支給ス

一 滿三ヶ年勤続者ニ対シテハ退職當時ノ日給五
十日分以上尙一ヶ年ヲ増ス毎ニ日給三十日分
ヲ増額ス

二 滿十ヶ年勤続者ニ対シテハ退職當時ノ日給
三百六十日分以上尙一ヶ年ヲ増ス毎ニ日給三
十日分ヲ増給ス又此ヲ得サル事故ニヨリ解
雇シタル時ハ九記ニヨリ年當金ヲ支給ス

一 勤続三ヶ年未滿ノ者ニ対シテハ一ヶ年ニ対シ
解雇當時ノ日給六十日分以上ヲ給ス
一 勤続三ヶ年以上ノ者ニ対シテハ退職年當金ノ
外ニ其一三倍以上ノ金額ヲ支給ス

十 一般罹病者ノ欠勤ニ因リ以上三且此時ハ欠勤中ノ日
給ノ二分ノ一以上ノ救済金ヲ給與スルコト

但シ其ノ給與引續キ三ヶ月以上ニ涉リタルトキハ
其後給與額ヲ日給三分ノ一マテ減スルコトヲ得

十一 俱樂部ヲ一般従業員ニ開放使用セシムルコト

十二 作業服ノ支給ヲ従業員全般ニ及ホスコト

十三 今更要求交渉中並ニ其解決後ニ於テ一切儀
牲者ヲ出ササルコト

十四 前記十三ヶ条要求ハ大正十年五月一日ヨリ実施スル
コト

右要求提出致候間至急御座會議ノ上未ル大正十年
四月三十日午後四時マテ一御回答相成度此段申出
仕也